Since 1973

No.158

エヴァンゲリウム・カントライ

Evangeliums Kantrei

2025年
3月

『賛美の王座に着座しておられる主』

田辺証夫

「けれども　あなたは聖なる方
御座に着いておられる方　イスラエルの賛美です。」詩篇22篇3節

2024年12月7日、みなみ野キリスト教会に初めて「エヴァンゲリウム・カントライ」に来ていただきました。実はカントライは私にとってそんなに遠い存在ではありません。かつて私の父は、カントライのドイツ旅行団の団長を務めたことがありました。私の妻は聖書宣教会・教会音楽舎時代にカントライに加えていただきました。そして私は岳藤照子先生にピアノを習っておりました。

さて、みなみ野キリスト教会では、毎年クリスマス・コンサートを開催していて、地域に住む皆さんにも大分認知されるようになりました。毎年、案内チラシを配布するのですが、今年はチラシが配布される前に「今年もコンサートがありますか?」との問い合わせの電話があったほどです。例年は楽器によるコンサートを開催していたからか、「今年は何の演奏ですか?」と尋ねられたので「今年は合唱、聖歌隊による賛美です」と言うと「合唱ですかぁ・・・」との反応。それでも、賛美を通して主イエスのご降誕を伝えたい、コンサートを一つのメッセージとしてお届けしたい、との思いが与えられていたので、私たち教会は祈りつつ期待してその日を待ちました。

当日となり、私たちの心配は杞憂に終わりました。小さな会堂ですがほぼ満席。コンサートに関するアンケートも、賛美を喜ぶ声がほとんどでした。その中の一つをご紹介しますと「歌声が一つに聞こえました。素晴らしかったです。『神は実にそのひとり子を』で『永遠』ということばが迫ってきました」というものがありました。そして一人の教会員は「クリスマスのエンタメ要素はほぼ削ぎ落とし、徹底してみことばに忠実な聖歌隊の賛美」との感想を述べておりました。

上に掲げた聖句は、ドイツ語・ルター訳2017年版では「Aber du bist heilig, der du thronst über den Lobgesängen Israels(しかしあなたは聖であり、イスラエルの賛美の上に着座しておられる)」と訳されています。カントライの一つとされた歌声の中に、来場された方々がひとりの主を見ることができたのだと思わされました。

カントライのコンサートは、歌う側、聞く側に分かれることなく、賛美の王座に着座しておられる主を、心を一つに讃える礼拝でした。感謝します。

(JECAみなみ野キリスト教会　牧師)

エヴァンゲリウム・カントライをお迎えして

去る11月23日、私たち湘南ライフタウンキリスト教会では、エヴァンゲリウム・カントライをお迎えして、『秋のチャペルコンサート　～賛美とオルガンのしらべにのせて～』を開催しました。コロナ禍により、伝道集会を開催するのは2018年11月以来実に6年ぶりのこと。エヴァンゲリウム・カントライをお迎えするのは、2018年3月の「ヨハネ受難曲演奏会」以来3度目となります。

会場の礼拝堂がほぼ満席となる81名の来場者をお迎えすることができ、その中には18名のノン・クリスチャンの方、また伝道集会が初めてという方も8名いらっしゃいました。コンサートは、「アダムの堕落」から始まり、「主はよみがえりぬ」「来たれ聖霊」そして「起きよ、と呼ぶ声」と賛美を通して聖書全体を網羅して語ってくださるものでした。間に入るナレーションも聴衆の曲への理解を助けてくれました。最後には、会衆賛美「諸人声上げ」もあり、皆がともに主を賛美する時となりました。

アンケートに寄せられた感想にも、歌声と演奏の素晴らしさを讃える声が多く寄せられました。それだけでなく、「みことばが心に残りました」「メロディーとともにことばが胸に響いた」「聖書のストーリーにのせた歌がよかった」といった声もいただき、エヴァンゲリウム・カントライがささげる賛美を通して、確実に福音の種が蒔かれたことを実感しました。

あらためて、エヴァンゲリウム・カントライ団員お一人お一人の尊いご奉仕に感謝申し上げます。これからもエヴァンゲリウム・カントライの働きを通して、主の福音が益々多くの人々に宣べ伝えられますようにとお祈りしております。

(湘南ライフタウンキリスト教会　新井拓洋)

2024.11.23(土)
湘南ライフタウンキリスト教会コンサート

2024 クリスマスコンサート報告

12/7(土)
みなみ野キリスト教会

住宅街の中にあるアットホームで素敵な教会堂でのコンサートでした。
今回は教会のフルーティスト田辺姉(牧師夫人：写真右)も賛美に加わってくださり、
感謝なひと時でした。以下教会のアンケートに寄せられた感想をご紹介します。

・歌声が一つに聞こえました。素晴らしかったです。
「神は実にそのひとり子を」で「永遠」という言葉が迫ってきました。
・バッハなどの音楽を日本語で聴くことができありがたかったです。
あたたかい演奏でした。
・フルートもとても良かったです！

12/14(土)
横須賀ファミリークリスマス
会場：横須賀学院大チャペル

横須賀の地域教会協力伝道「横須賀ファミリークリスマス」は、数年ぶりの開催
でしたが、カントライがゲストとして奉仕をさせていただきました。特に今回は、
横須賀学院のパイプオルガン(ドイツ製シュッケ社：写真左)のお披露目も兼ねての
プログラムでした。老若男女約270名の方々が集われ、幸いな賛美の時となりました。
以下、寄せらせた感想をご紹介します。

・プログラムがちょうど良い内容で子どもたちも飽きないで聴くことができました。
・解説付きコンサート良かったです。
・聖書のストーリーに沿っての賛美が素晴らしかったです。
・パイプオルガンについての説明、演奏が興味深く勉強にもなりました。

Information！

第二弾！プレカントライ in千葉

◎日時 ：4/26、5/24、6/28、7/26、9/27、10/25、11/22、
2026年1/24、2/28、3/28 （8月、12月は休）
第四土曜日、14:00-15:30
◎会場 ：保守バプテスト津田沼教会
◎主な練習内容：簡単なカノン、みことばの歌など

聖歌隊の学び、共に賛美したい方、お待ちしています。詳しくは、ホームページ、案内文書をご参照ください。
神奈川でも6月から平日夜の開講を予定しています。
後日、近隣の皆様にご案内します。ご参加をお待ちしています！

2025年 活動予定

2025年 3月22日(土) プレカントライ賛美礼拝(長津田キリスト教会)
4月12日(土) 浜田山キリスト教会コンサート(ヨハネ受難曲)
4月26日(土) プレカントライ千葉スタート
＊ 今後の状況によって変更の可能性がありますので、ご確認をお願いいたします。

献金2024年12月-2025年2月

（ ）内の数字は件数です。
尊い献げものをありがとうございました。感謝をもってご報告いたします。（敬称略）

＜賛助会＞（教会）前橋キリスト教会(3)、川越聖書教会、拝島バプテスト教会
グレースコミュニティー、東京聖書教会(3)、北栄キリスト教会(3)
宇都宮聖書バプテスト教会、長津田キリスト教会、菅生キリスト教会
湘南ライフタウンキリスト教会(3)

（個人）高橋和江、飯島勅･千雍子(3)、佐藤義則、潮田徹、方波見知子
高張美恵子(2)、山口康友、石川證、市川和子、中山明美、田中玲子
矢吹徹

＜献金＞ （教会）浜田山キリスト教会(2)、東京聖書教会、九十九里教会
（個人）団員

編集後記
コロナ後、久しぶりに対面でのヨハネ受難曲の演奏会があります。受難節に入り、主イエス・キリストの十字架を覚えて、練習に励んでおります。来年度の計画のために主の導きがありますようにお祈りをお願いいたします。(事務局)

〒251-0861 藤沢市大庭5529-8シャルマンコーポ404 小山方 Tel. 070-2834-4304
郵便振替 00100-3-21060
聖書 新改訳2017©新日本聖書刊行会